

2029年1月31日満期 期限前償還条項・円償還条項付 円/豪ドル デュアル・カレンシー社債

年利率
1.00%
(税引後0.796%)

税引後の利率は、20.315%の税金が差し引かれた利率であり、小数点以下第3位未満を切捨てて表示しています。

期間
約 7 年

発行体の選択により、最短の場合約1年で期限前償還される場合がございます。

本債券の特徴

お申込代金・利息は円ですが、満期償還の場合、円又は豪ドルで償還されます。為替レートの変動リスクをとることにより、一般的な同期間の円建固定利付債と比較して、相対的に高い金利を享受できる可能性があります。ただし、為替変動の影響を受け損失が生じる場合があります。発行体の選択により、満期償還日より前に期限前償還される場合があります。

売出要項

発行体：バークレイズ・バンク・ピーエルシー
格付：付：A1 (Moody's*) / A (S&P*)

本格付は2021年11月30日時点の格付
*本使用格付は、本邦において信用格付業者として登録していない格付業者が付与した格付(無登録格付)です。無登録格付については、「無登録格付に関する説明書」の内容をお読みください。

利率：年1.00% (税引後、0.796%)

※税引後の利率は、20.315%の税金が差し引かれた利率であり、小数点以下第3位未満を切捨てて表示しています。

売出価格：額面金額の100%

額面金額：100万円

お申込単位：300万円以上、100万円単位

お申込予約期間：2022年1月4日～2022年1月18日

売出期間：2022年1月21日～2022年1月28日

発行日：2022年1月28日

受渡日：2022年1月31日

満期償還日：2029年1月31日(約7年)

期限前償還：2023年1月31日以降、発行体の選択で期限前償還する可能性があります。

利払日：初回2022年7月31日、
毎年1月および7月の31日(年2回)

期限前償還条項について

発行体の選択により、2023年1月31日の利払日から2028年7月31日までの毎利払日の10営業日前までに、権利行使を通知することにより、本債券を額面金額の100%の円で期限前償還する権利を有しています。一般的に、円高・豪ドル安になるほど期限前償還される可能性は低くなり、逆に円安・豪ドル高になるほど期限前償還される可能性は高くなると考えられます。ただし、期限前償還されるか否かは、あくまで発行体の選択になります。

満期償還方法について

●期限前償還されなかった場合、円又は豪ドルで満期償還日に償還されます。

<償還為替レートが、償還通貨判定為替レートと同じ、又はより円安・豪ドル高の場合>

⇒額面金額の100%で円償還

<償還為替レートが、償還通貨判定為替レートより円高・豪ドル安の場合>

⇒額面金額100万円につき、以下の計算式で計算される金額で豪ドル償還(1豪セント未満を四捨五入)
100万円÷当初為替レート

当初為替レート 2022年1月31日における参照為替レートです。

参照為替レート Bloomberg LP画面「BFX」のMidページに表示される午後3時(東京時間)における円/豪ドル為替レートです。

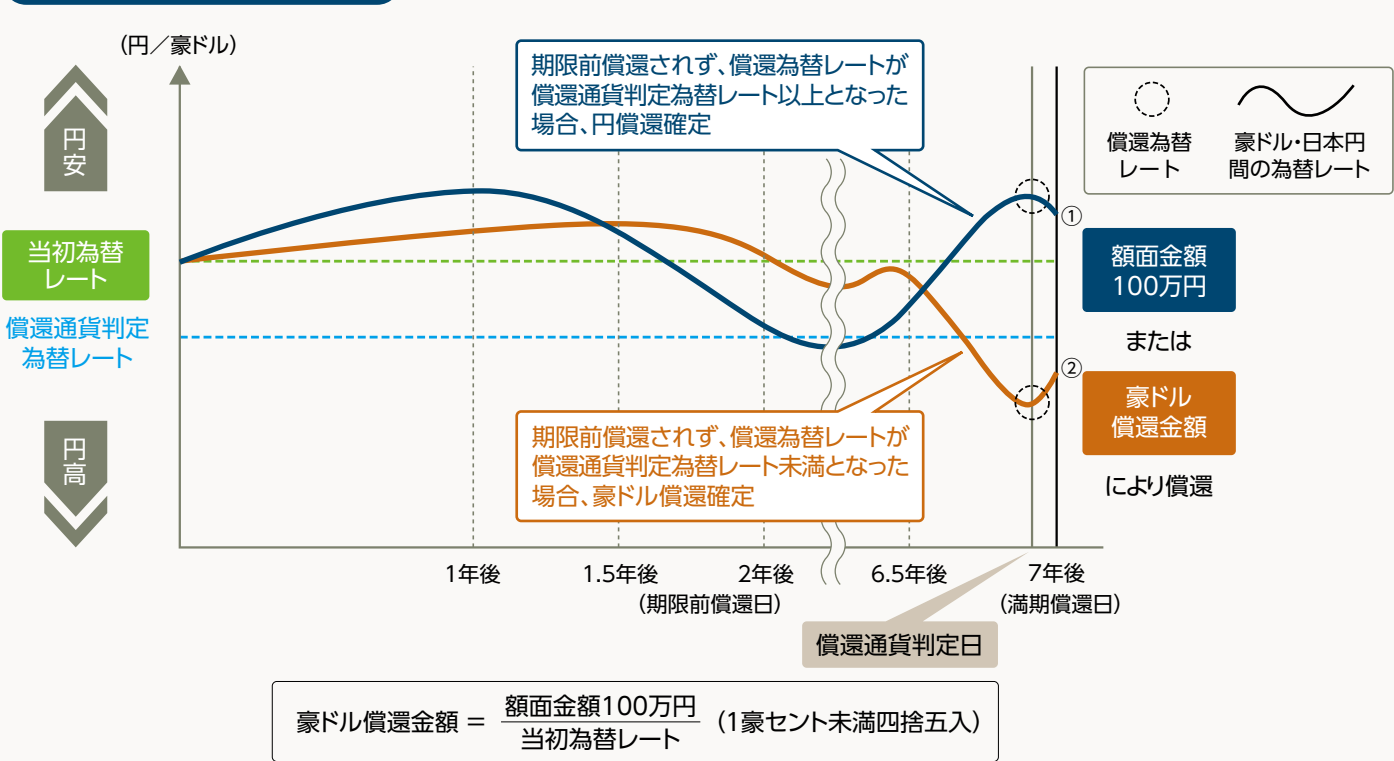
償還通貨判定為替レート 当初為替から、条件決定日に決定される一定値(10.00円～35.00円までを仮条件*とします。)を差し引いた値です。
*2022年1月19日までに決定される予定の上記未定の条件は、仮条件の範囲外となる場合があります。

償還為替レート 償還通貨判定日における参照為替レートです。

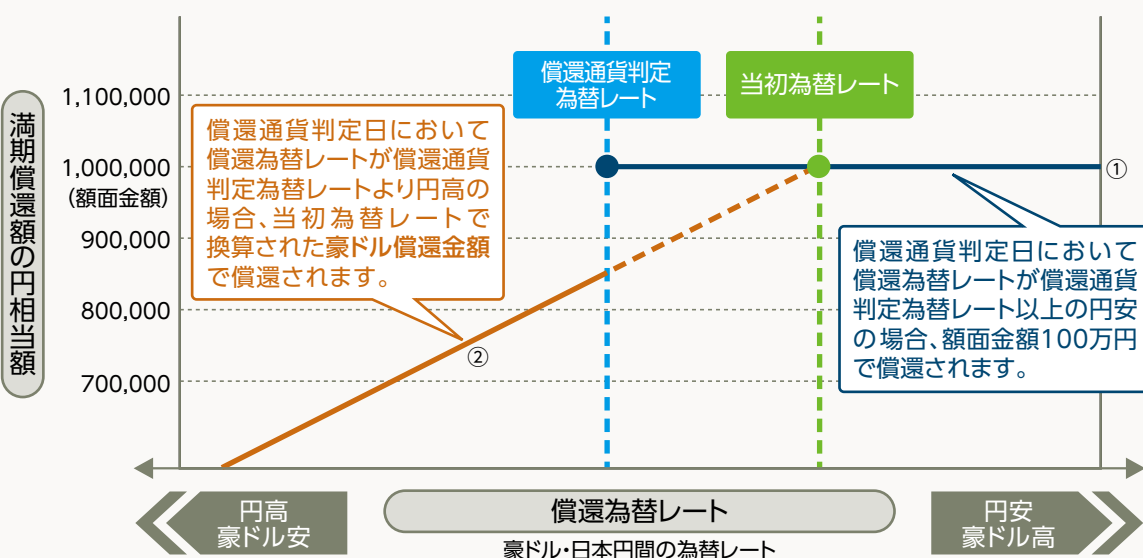
償還通貨判定日 満期償還日の10営業日*前の日です。

*営業日については目論見書をご参照ください。

満期償還方法のイメージ図



償還為替レートの水準と満期償還額(円相当額)のイメージ図



上図の②の実線は、豪ドル償還金額を償還為替レートで円に換算した額を示しています。本債券が豪ドルで償還された場合、実際に受領できる円金額は豪ドルを円に交換する時の為替レートにより変わりますので、上図のイメージとは大きく異なることがあることにご注意ください。

＜ご参考＞円/豪ドル 為替レート過去の推移(2010年1月1日～2021年11月30日) (出所)Bloomberg L.P.



※上記グラフは過去の推移であり、将来の為替相場を示唆・保証するものではありません。

想定損失額について

以下は、本債券の価格に影響を与える主な金融指標等(以下、「対象金融指標等」といいます)のヒストリカルデータに基づく、最悪シナリオを想定した本債券の想定損失額のシミュレーションです。

本シミュレーションは試算日(2021年12月14日)の市場環境に基づく簡易な手法により試算したものであり、将来の実際における損失額を示すものではありません。

対象金融指標等

- 円/豪ドル為替レート
- 豪ドル金利

試算の前提となるヒストリカルデータ

- 【円/豪ドル為替レートの最大下落率】

対象金融指標等	最大下落率*	観測期間	
		開始日	終了日
円/豪ドル為替レート	51.53%	1990年4月1日	2021年11月30日

※観測期間における、各取引日を起算日とした7年間の期中下落率のうち、最大のもの

- 【期中の想定損失額の算出にあたって考慮されるその他の参照指標の最大変動幅等】

対象金融指標等	最大変動幅*	観測期間	
		開始日	終了日
豪ドル金利	7.90%	1990年4月1日	2021年11月30日

※観測期間における、7年物豪ドルスワップレートの7年間の最大上昇幅

(出所:Bloomberg L.P.)

満期償還時の想定損失額

- 円/豪ドル為替レートが、当初為替レートより上記ヒストリカルデータと同様に下落した場合の、満期償還時における想定損失額は以下の通りです。

額面に対する想定損失額	51.53%
-------------	--------

期中の想定損失額

- 下記の仮定条件に基づき、本債券の発行直後において対象金融指標等が上記ヒストリカルデータと同様に変動した場合の、期中の想定損失額は以下の通りです。

[仮定条件] ・ 当初為替レート：81.00円/豪ドル
・ 償還通貨判定為替レート：60.00円/豪ドル

額面に対する想定損失額	70.24%
-------------	--------

ご留意事項

- 前提とするヒストリカルデータを上回る市場変化が生じた場合等には、上記の想定損失額を超える損失が発生する可能性があります。
- 発行者(含、保証会社等)のデフォルト等、市場環境次第では、上記の想定損失額に関わらず、投資額のほぼ全額を毀損する可能性があります。
- 本債券に関する流通市場は形成されておらず、また将来形成される予定もないため、中途売却できる保証はありません。
- 中途売却時における実際の売却価格は、売却時における本債券の流動性及び残存期間の利回り水準等も影響するため、算出することができません。本試算では、期中の想定損失額については受取利息を考慮した上で、対象金融指標等が上記ヒストリカルデータと同様に変動し、かつ発行直後に売却することを前提とした場合の理論値を算出しています。実際に売却する際には、試算した想定損失額を上回る損失が生じる可能性があります。

本書面に記載されたシミュレーションの内容、図表及びグラフは過去データや仮定条件に基づくものであり、将来の投資結果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。

発行体概要

バークレイズについて

- バークレイズは、英国および米国を主要拠点とし、個人および法人向け銀行業務、投資銀行業務、クレジットカード、資産管理業務等を提供する金融機関です。325年以上の歴史と銀行としての専門性を備えたバークレイズは、世界40カ国以上に約8万人の従業員を擁し、世界中のお客様に為替、融資、投資、資産管理に関わるサービスを提供しています。より詳細な情報はグループのウェブサイト home.barclays をご覧ください。

バークレイズ・バンク・ピーエルシーについて

- バークレイズ・バンク・ピーエルシーは、持ち株会社バークレイズ・ピーエルシーの完全子会社です。
- バークレイズ・バンク・ピーエルシーの主要な事業は”コーポレート・アンド・インベストメント・バンク”及び”コンシューマー・カード・アンド・ペイメント”により構成されます。
 - ▶コーポレート・アンド・インベストメント・バンク
ホールセール・バンキング商品及びサービスを、法人及び機関投資家に対して提供しています。
 - ▶コンシューマー・カード・アンド・ペイメント
独自ブランド及び提携ブランドによる消費者向けクレジットカード、貸付の提供や、プライベートバンク事業、投資サービス及び、資産管理サービス等の提供を行っています。

主なリスク

- 本債券は、参照する為替レートが一定水準を超える円高となった場合、外貨で償還されることがあります。その結果、円換算した満期償還金額が投資元本を割り込むことがあります。
- 本債券の価格は、円高、外貨金利の上昇、外貨と円の金利差の拡大等により、購入価格を下回り損失が生じるおそれがあります。
- 本債券は、発行者又は保証会社等の信用状況に変化が生じた場合、本債券の市場価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- 本債券に関する流通市場は確立されていないため、中途売却できない可能性及び購入価格を大きく下回る価格での売却となる可能性があります。
- 本債券が期限前償還され、再投資を行う場合、市場実勢によっては再投資運用利回りが低下することがあります。また、期限前償還された場合には、期限前償還日以降の利息は生じません。

ご投資にあたっての留意点

- 本債券は預金ではなく、元本・利回りは保証されていません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- お申し込みにあたっては「注意喚起文書」「契約締結前交付書面」「本債券の想定損失額について」及び「目論見書」等をよくお読みいただいた上で、ご投資の最終決定はお客さまご自身にてなされるようお願いいたします。
- 本債券をご購入される場合には、外国証券取引口座の設定が必要となります。「外国証券取引口座約款」を必ずお受け取りください。
- 本債券をご購入される場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 販売会社によって申込単位が異なる場合があります。
- 販売額には限りがありますので、売切れの際はご容赦ください。また、市場環境の変化その他の理由により、販売が中止となる可能性があります。
- 本債券に関する価格情報については、販売会社までお問い合わせください。
- 利金・償還金のお支払いは各利払日・償還日の翌営業日以降となる場合があります。また、特にお申し出がない場合、償還金は円貨でのお支払いとなります。
- 本債券の償還等にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて販売会社が決定する為替レートが適用されます。
- 個人のお客さまの場合、利子所得、売却損益及び償還差損益は申告分離課税の対象となります。本債券の課税上の取扱いについては必ずしも明確ではなく、上記と異なる可能性があります。詳しくは税理士等の専門家にお問い合わせください。

無登録格付に関する説明書

格付会社に対しては、市場の公正性・透明性の確保の観点から、金融商品取引法に基づく信用格付業者の登録制が導入されております。

これに伴い、金融商品取引業者等は、無登録格付業者が付与した格付を利用して勧誘を行う場合には、金融商品取引法により、無登録格付である旨及び登録の意義等を顧客に告げなければならないこととされております。

以下は、同法に基づいた無登録格付業者に関する説明です。

1. 登録の意義について

登録を受けた信用格付業者は、①誠実義務、②利益相反防止・格付プロセスの公正性確保等の業務管理体制の整備義務、③格付対象の証券を保有している場合の格付付与の禁止、④格付方針等の作成及び公表・説明書類の公衆縦覧等の情報開示義務等の規制を受けるとともに、報告徴求・立入検査、業務改善命令等の金融庁の監督を受けることとなりますが、無登録格付業者は、これらの規制・監督を受けておりません。

2. 無登録の格付会社の例について

格付情報を付与している格付会社のうち、下記の格付会社グループは金融商品取引法第66条の27に基づく登録を受けておりません。

格付業者	S&Pグローバル・レーティング	ムーディーズ
格付会社グループの呼称等	S&Pグローバル・レーティング グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号:S&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社(金融庁長官(格付)第5号)	ムーディーズ・インベスターズ・サービス グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号:ムーディーズ・ジャパン株式会社(金融庁長官(格付)第2号)
信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について	S&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社のホームページ(http://www.standardandpoors.co.jp)の「ライブラリ・規制関連」の「無登録格付け情報」(http://www.standardandpoors.co.jp/unregistered)に掲載されております。	ムーディーズ・ジャパン株式会社のホームページ(ムーディーズ日本語ホームページ(https://www.moodys.com/pages/default_ja.aspx))の「信用格付事業」をクリックした後に表示されるページにある「無登録業者の格付の利用」欄の「無登録格付説明関連」に掲載されております。
信用格付の前提、意義及び限界について	S&Pグローバル・レーティングの信用格付は、発行体または特定の債務の将来の信用力に関する現時点における意見であり、発行体または特定の債務が債務不履行に陥る確率を示した指標ではなく、信用力を保証するものでもありません。 また、信用格付は、証券の購入、売却または保有を推奨するものでなく、債務の市場流動性や流通市場での価格を示すものでもありません。 信用格付は、業績や外部環境の変化、裏付け資産のパフォーマンスやカウンターパーティの信用力変化など、さまざまな要因により変動する可能性があります。 S&Pグローバル・レーティングは、信頼しうると判断した情報源から提供された情報を利用して格付分析を行っており、格付意見に達することができるだけの十分な品質および量の情報が備わっていると考えられる場合にのみ信用格付を付与します。しかしながら、S&Pグローバル・レーティングは、発行体やその他の第三者から提供された情報について、監査・デュー・デリジュエンスまたは独自の検証を行っておらず、また、格付付与に利用した情報や、かかる情報の利用により得られた結果の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。さらに、信用格付によっては、利用可能なヒストリカルデータが限定的であることに起因する潜在的なリスクが存在する場合もあることに留意する必要があります。	ムーディーズ・インベスターズ・サービス(以下、「ムーディーズ」という。)の信用格付は、事業体、与信契約、債務又は債務類似証券の将来の相対的信用リスクについての、現時点の意見です。ムーディーズは、信用リスクを、事業体が契約上・財務上の義務を期日に履行できないリスク及びデフォルト事由が発生した場合に見込まれるあらゆる種類の財産的損失と定義しています。 信用格付は、流動性リスク、市場リスク、価格変動性及びその他のリスクについて言及するものではありません。また、信用格付は、投資又は財務に関する助言を構成するものではなく、特定の証券の購入、売却、又は保有を推奨するものではありません。ムーディーズは、いかなる形式又は方法によっても、これらの格付若しくはその他の意見又は情報の正確性、適時性、完全性、商品性及び特定の目的への適合性について、明示的、黙示的を問わず、いかなる保証も行っておりません。 ムーディーズは、信用格付に関する信用評価を、発行体から取得した情報、公表情報を基礎として行っております。ムーディーズは、これらの情報が十分な品質を有し、またその情報源がムーディーズにとって信頼できると考えられるものであることを確保するため、全ての必要な措置を講じています。 しかし、ムーディーズは監査を行う者ではなく、格付の過程で受領した情報の正確性及び有効性について常に独自の検証を行うことはできません。

この情報は、2018年5月1日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは上記格付会社のホームページをご覧ください。

— お申し込みにあたっては、必ず契約締結前交付書面及び目論見書等をご覧ください。—

お問い合わせは…

ひろぎん証券株式会社

金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第20号 加入協会: 日本証券業協会